

2009年度

科目名	文化財科学実習 I		
担当教員	広岡 公夫		
配当	文財3(2141)	コード	52410
開期	後期	講時	金曜日2限
		単位数	1
授業テーマ	統計学の初歩:考古学・文化財学に関するデータの自然科学的取り扱いの基礎		
目的と概要	発掘調査がなされたガンジ山A2号窯(愛知県大府市)の燃焼室内に残されていた山茶碗(30個)の口径、器高、高台径の数値を用いて、統計学の初歩を体験・理解する。		
成績評価法	実習のレポート(75%) + 平常点・授業時の発言(25%)		
テキスト	特に定めません		
参考書	「考古学のための年代測定法入門」/長友恒人編/古今書院 「博物館実習マニュアル」/博物館講座協議会編/芙蓉書房出版		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
第1回	平均値を求める(1)・・・平均値とは何か?		
第2回	平均値を求める(2)・・・ガンジ山古窯の山茶碗の、口径(x)、器高(y)、高台径(z)の平均値		
第3回	誤差とは何か?(1)・・・偏差平方和		
第4回	誤差とは何か?(2)・・・分散		
第5回	誤差とは何か?(3)・・・標準偏差を求める。		
第6回	ヒストグラムを描く(1)・・・ヒストグラムで何がわかるか?階級数を求める。		
第7回	ヒストグラムを描く(2)・・・x, y, z のそれぞれの分布を考察する。		
第8回	相関係数を求める(1)・・・xとy, xとz, zとy の相関を考える。		
第9回	相関係数を求める(2)・・・偏差積和を計算		
第10回	相関係数を求める(3)・・・相関係数の計算、その意味を考える。		
第11回	散布図を描く(1)・・・図の大きさ、点の大きさなどのデザインを考える。		
第12回	散布図を描く(2)・・・散布図と相関係数との関係を考える。		
第13回	最小2乗法を知り、回帰直線を描く・・・最小2乗法の方法を知る。		
第14回	最小2乗法を知り、回帰直線を描く・・・最小2乗法を用いて回帰直線を求める。		
第15回	最小2乗法を知り、回帰直線を描く・・・求めた回帰直線を散布図に描く。		